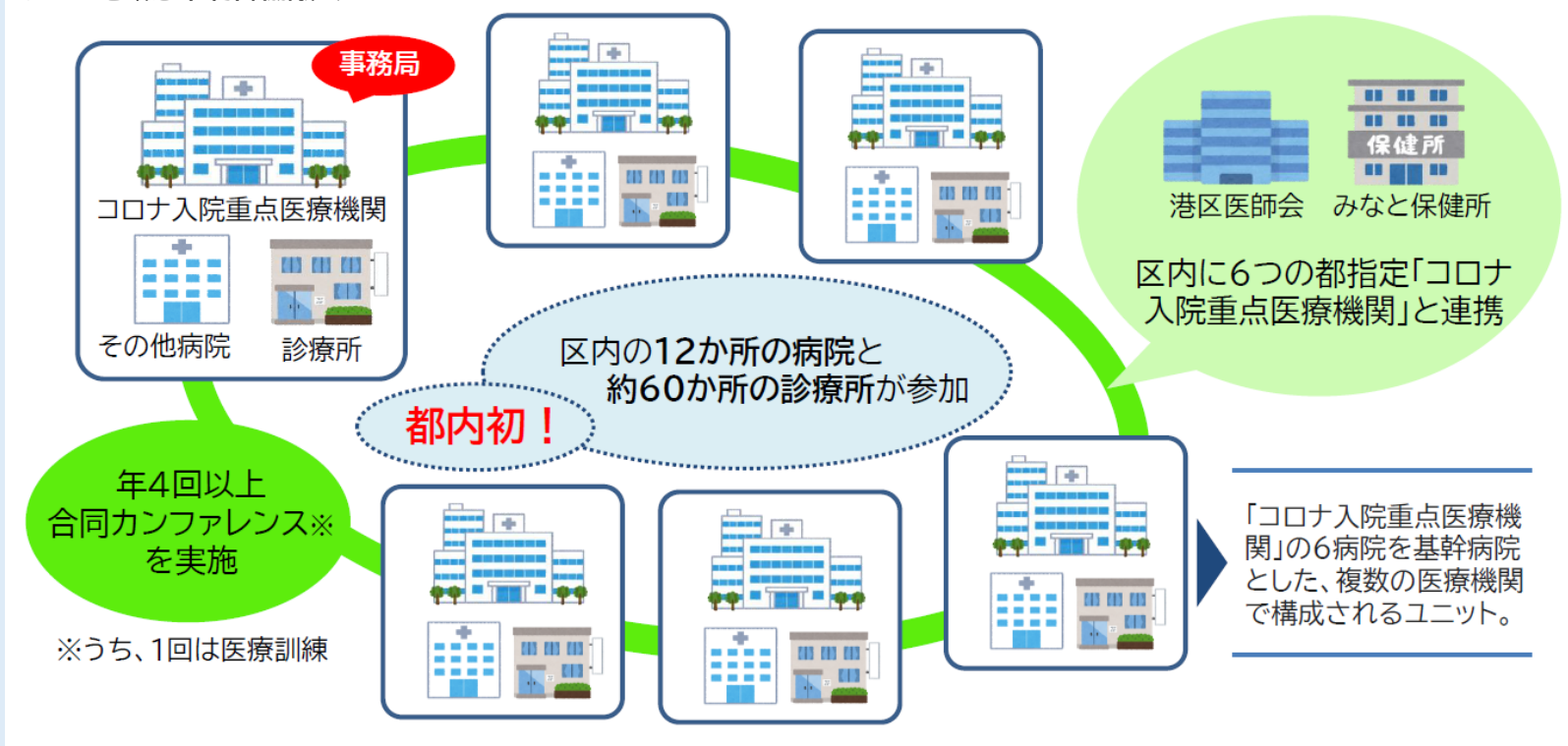


みなと地域感染制御協議会について

令和4年10月に発足した協議会です。「東京都新型コロナウイルス感染症入院重点医療機関(感染対策向上加算1に該当)」である区内の6病院(虎の門病院、東京慈恵会医科大学附属病院、北里大学北里研究所病院、東京都済生会中央病院、JCHO 東京高輪病院、国際医療福祉大学三田病院)が中心となり、港区医師会や港区とも連携しながら、区内の12の入院医療機関、約60の診療所で連携体制を組み、年4回以上の合同カンファレンスや医療訓練などを実施します。

*港区は、令和4年7月1日付で「地域医療連携担当課長」を設置し、同協議会の一員として、その運営を支援しています。

みなと地域感染制御協議会イメージ



医療機関が集積する港区の地域特性を踏まえた連携・取組を進めます！

令和5年1月30日
港区

【情報提供】 みなと地域感染制御協議会 全体会議について

みなと地域感染制御協議会は、令和4年12月1日に区内を中心とした16病院、64診療所、港区医師会、みなと保健所で全体会議を行い、輸入感染症患者発生を想定した合同訓練を行いました。当日は、現地参加が90名、WEB参加が83名の合計173名が参加し、国内で複数例が発生しているサル痘を題材とした輸入感染症患者の発生時の対応について、シチュエーション動画を用いながらグループディスカッションを実施しました。

【概要】

- (1) 日時
令和4年12月1日（木曜日）午後6時～8時
- (2) 場所
東京慈恵会医科大学1号棟 3階講堂 他
- (3) 開催方式
実地及びWEB開催
- (4) 参加者
173名（現地参加90名、WEB参加83名）

【内容】

輸入感染症患者対応について、サル痘を題材としてシチュエーション動画を視聴し、グループディスカッション。参加者が3グループ（虎の門病院・東京慈恵会医科大学附属病院・済生会中央病院）に分かれて、訓練を実施。

外来窓口や受診時の対応、院内スクリーニング体制、実際の感染対策など、各施設の取組や課題について議論し、最後に共有を行いました。

12/2 みなと地域感染制御協議会 全体会議の風景～



【訓練 シチュエーション動画の視聴】
医療機関での患者対応例を動画で視聴。
症例はサル痘



【訓練（虎の門）グループワークの様子①】
保健所への相談や報告が必要なため、
フローについて確認。区保健師も参加。



【訓練（慈恵医大）グループワークの様子②】
患者への初期対応や保健所連絡後の感染対策、
課題や現時点での取組を共有



【訓練（済生会）グループワークの様子③】
スライドで正しい対応フローを確認



【訓練（慈恵医大）グループワークの様子④】
みなと保健所による説明



【訓練（慈恵医大）国内のサル痘事例の共有】

【今後に向けて】

みなと地域感染制御協議会は、今後も継続的にカンファレンスや訓練を通じて、感染症の発生動向の把握や最新情報の共有、課題の検討などを行い、地域の感染症対応力の向上を図ります。

区は、引き続き、協議会の活動を積極的に支援することにより、未知の感染症発生時の早期対応をはじめ、区民に安心・安全な医療を提供できるように取り組んでまいります。